

「教育」分野

- 1 目的 丸亀市の保健福祉制度を通して「子育て支援」について学ぶとともに、日本語適応支援教室における先進的な取り組みを通して、外国人等日本語の理解が十分でない子どもの教育について学ぶことで、教育分野からの地方創生における丸亀市の現状と課題とその対策を知り、課題研究における課題発見の糸口とする。
- 2 日時 平成28年6月22日（水）13：10～15：30 [A週65分]
- 3 場所 ひまわりセンター（丸亀市大手町）、丸亀市立城乾小学校（丸亀市中府町）
- 4 参加者 1年生「教育」分野選択者52名（男子20名、女子32名）、教員3名
- 5 内容

ひまわりセンターに徒歩で移動して、丸亀市の子育て支援等についての講義を受けた。まず、子ども未来部子育て支援課より、「丸亀市の保健福祉制度」「丸亀市の子育て支援情報」等について教わった。続いて、教育部総務課より、「学童保育（青い鳥教室、放課後こども教室）」についてのお話をうかがった。その後、丸亀市立城乾小学校に徒歩で移動して、教育部教育委員会学校教育課より、「日本語適応支援教室」の現状について教えていただいた。その後、ニューカマーの子ども達に日本語教育を行っている教室で実際の授業を体験させていただいた。最後に、校内にある「青い鳥教室（学童保育）」を訪問した。生徒は、丸亀市の行っている様々な取り組みとその理由・目的を知り、住みよい町づくりに向けて活動の意欲を高めたようだ。



6 生徒の主な感想

- ・子育て支援について自分の知らない新しいことがたくさん分かった。
- ・丸亀市においても少子化や人口減少が非常に深刻な問題となっていることがよく分かった。
- ・児童の貧困化や待機児童の現状、それに対する対策や問題点などを知って、子育てが大変だと言うことをよく理解できた。
- ・病気の子ども用の学童保育を作る、ママ友に会える場所を設けるなど、丸亀市が様々な事業に取り組んでいることが分かった。
- ・日本語を分からない子どもに日本語で授業をしていると聞いてびっくりした。
- ・外国の子どもに教える先生の熱心さが伝わってきて、私たちにも何かできることはないかと思った。
 - ・外国から来た人の問題の深刻さに気付くことができた。
- ・青い鳥教室を利用したことがなかったし、外国人の友だちもいなかったもので、今回の話はとても新鮮だった。
- ・地域で行われている教育について、見たり聞いたりして、たくさんの気づきや発見ができた。
- ・丸亀市がさまざまな取り組みを行い、住みよい町づくりに努めていることが分かったので、さらに詳しく調べたい。
 - ・丸亀市の教育について学べた。多くの取り組みができていて驚いた。
- ・質問にも、理由やその後の対応まで丁寧に教えていただきとても勉強になった。説明を受けて私たちがよく知らないことが多く分かり、たくさん資料をいただいたのに、これらの活動が周りに広がらないのはとてももったいないと思った。これらの活動がより広がるように、これからの企画書作成に向けて、自分も努力できればと思う。
- ・教育といっても様々な面があることが分かった。教育分野により興味を持てた。
- ・今の教育の課題とその対策が分かった。教育について自分も協力したいと思った。
- ・見学や講義を聞いて、教育も地方創生に関わることができると分かった。